

# 中山町立中山中学校

## 《施設概要》

事業主体：中山町  
施設名称：中山町立中山中学校  
所在地：東村山郡中山町大字長崎 4880 番地  
用途：学校（中学校）

## 《使用木材》



赤松 9.69 m<sup>3</sup>、スプルース 0.775 m<sup>3</sup>、杉 5.55 m<sup>3</sup>、  
ナラ集成 0.22 m<sup>3</sup>、タモ集成 27.23 m<sup>3</sup>、赤松集成 56.48 m<sup>3</sup>、  
カラマツ構造用集成材 17.5 m<sup>3</sup> 合計 117.44 m<sup>3</sup>



《外観写真》

## ●施設の特徴、内容

中山町の中心地区にあり、県営野球場・町民体育館・公民館・温泉などのコミュニティ施設が集約した中核ゾーンとなっている。基本構想にある、生徒がワークショップでまとめた3つの言葉「Everyone home」、「あった〇(まる)」、「おもしろいスクール」というキーワードを踏まえ、2つのことを提案した。ひとつは『Everyone home、あったまる、おもしろいスクール』を空間化すること、もうひとつは雪深い山形において生徒が冬でも活発で躍動的に過ごせるこの地域ならではの学校の形態をつくることである。

普通教室、ロッカールーム、特別支援教室、特別教室、学年ユニット、教師コーナーなどを設けている。校舎中心部のひまわりフォーラムは大空間の吹抜け空間となっている。

## ■建物概要

階数：地上3階  
構造：(校舎) 鉄筋コンクリート造  
(屋内運動場) 鉄骨鉄筋コンクリート造  
(渡り廊下) 鉄骨造  
敷地面積：44,805.50 m<sup>2</sup>  
延床面積：10,416.94 m<sup>2</sup>  
各階床面積：(校舎) [1階] 3,195.00 m<sup>2</sup>  
[2階] 3,078.54 m<sup>2</sup> [3階] 153.27 m<sup>2</sup>  
(屋内運動場) [1階] 1,637.09 m<sup>2</sup>  
[2階] 1,749.86 m<sup>2</sup> [3階] 518.64 m<sup>2</sup>  
[4階] 22.74 m<sup>2</sup> [PH階] 24.63 m<sup>2</sup>  
(渡り廊下) 37.17 m<sup>2</sup>  
最高軒高：20.775m  
最高高さ：21.5m  
耐火・準耐火：耐火建築物

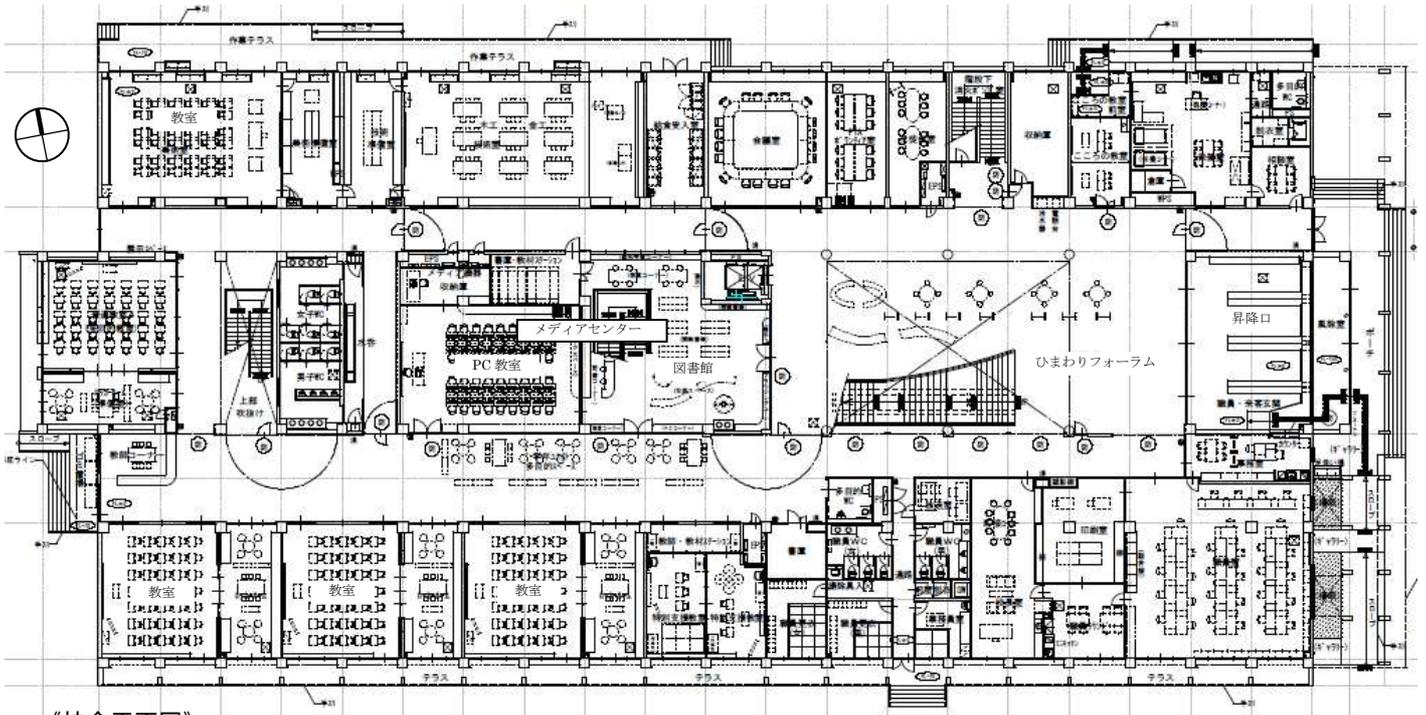
## ■主要仕上

### 外部仕上

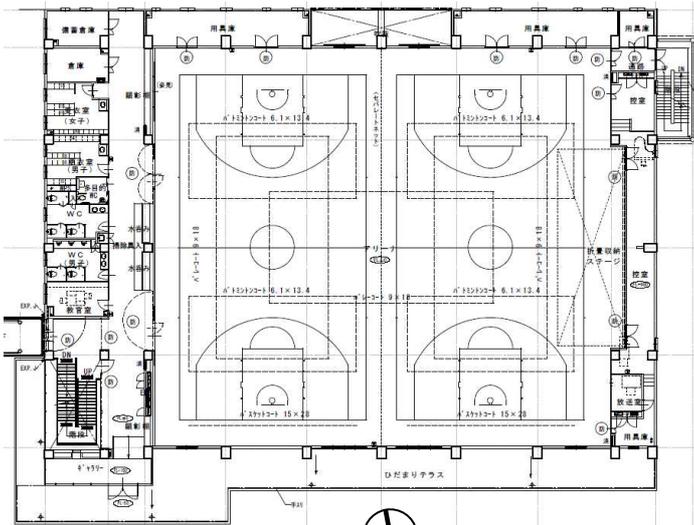
(屋根) (校舎) コンクリート下地アスファルト防水+アスファルト成形版 t6.0 mm  
(屋内運動場) コンクリート下地アスファルト防水+アスファルト成形版 t6.0 mm  
デッキプレート断熱シート防水 t1.2 mm  
(外壁) (校舎) 化粧ベニヤ型枠コンクリート打放し、複層塗材 RE 仕上  
(屋内運動場) 化粧ベニヤ型枠コンクリート打放し、複層塗材 RE 仕上  
セメント中空押出成形版 t60 mm 複層塗材 RE 仕上

### 内部仕上

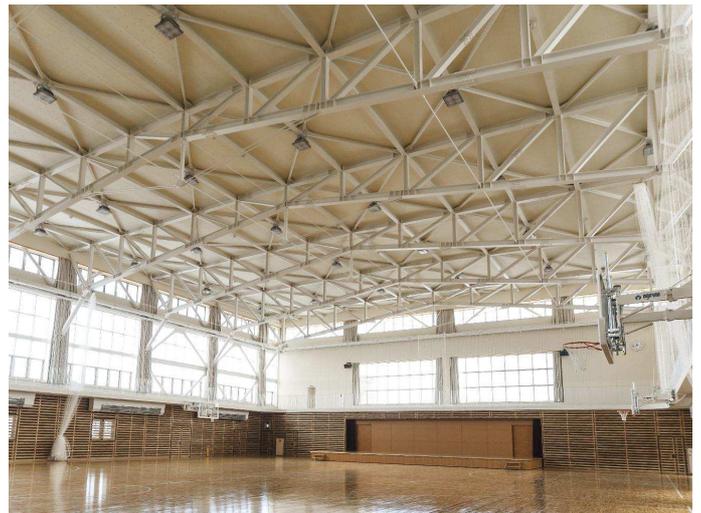
(床) 構造用合板 t12 mm下張り  
複合フローリング張り t15 mm  
(壁) せっこうボード t12.5 mm+普通硬質せっこうボード t9.5 mm  
EP 塗り  
(天井) 吸音性有孔せっこうボード t9.5 mm EP 塗り  
木製ルーバー WS 塗り  
(その他) 腰壁：ラワン合板 t12 mm下地  
杉板本実加工 t12 mm張り WSCL 塗り



《校舎平面図》



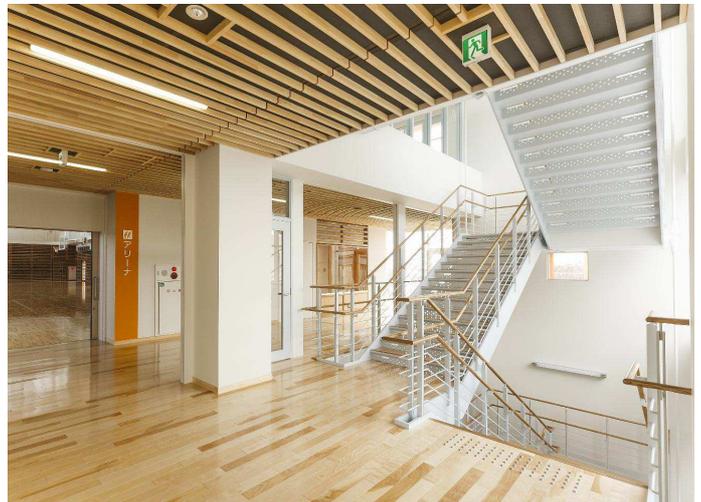
《屋内運動場平面図》



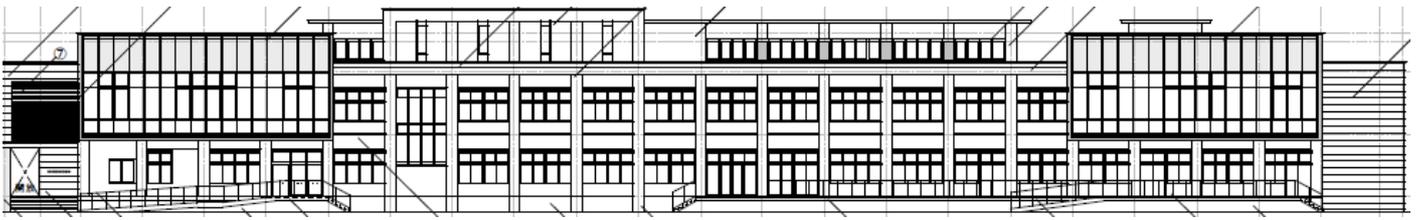
《アリーナ》



《武道場》



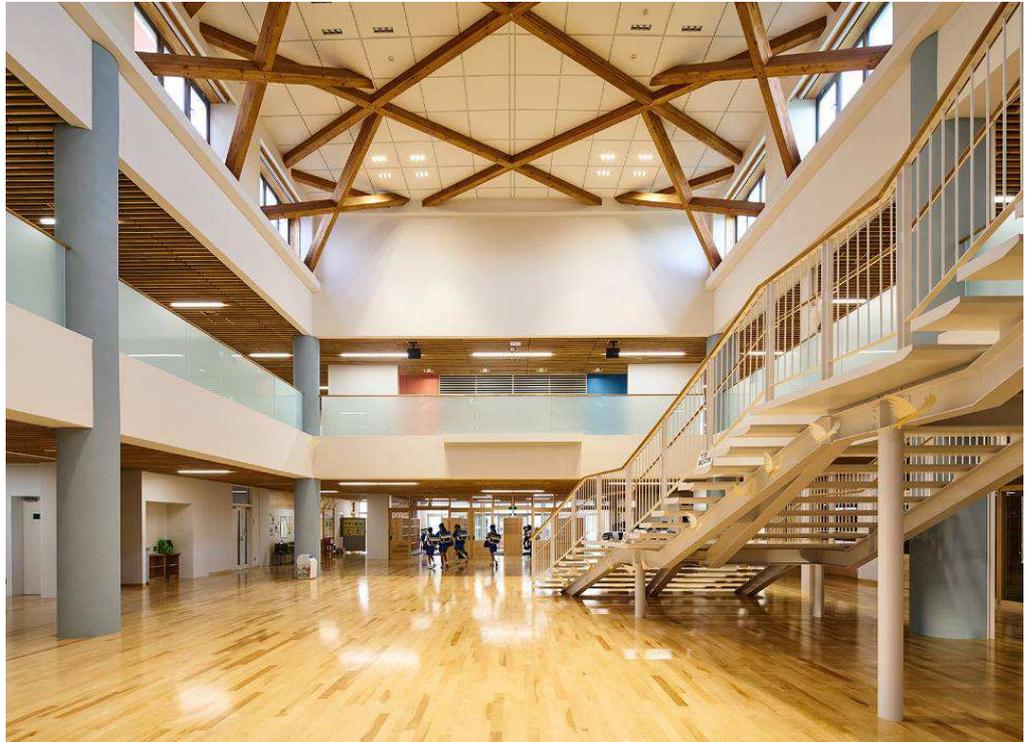
《屋内運動場階段》



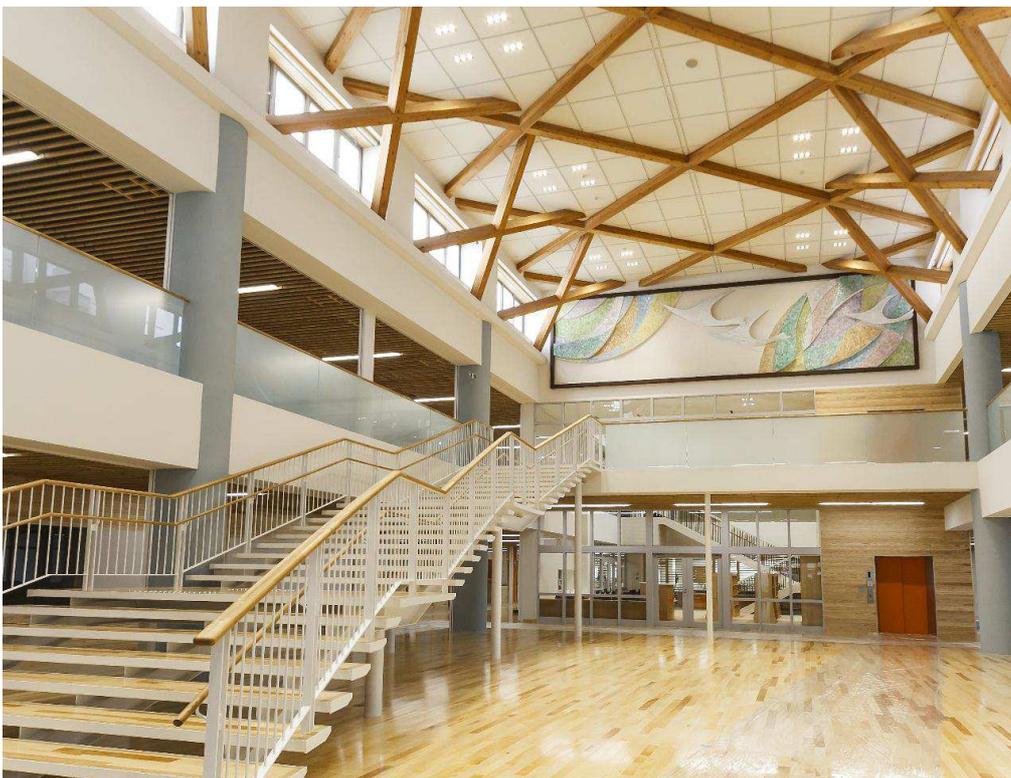
《校舎北立面図》

●設計における工夫点1

ひまわりフォーラムとメディアセンターはハイサイドからふりそそぐ明るい光と温もりのある木架構によって、暖かい雰囲気ワクワクするような場として計画した。基本設計ワークショップでも町の担当者や生徒と使い方について議論を重ね、ひまわりフォーラムは生徒の様々なスケールのコミュニケーションや活動で活気あふれる場、メディアセンターは教室廻りの学習の延長として多様で自主的な使い方ができる場となることを目指した。



《ひまわりフォーラム》



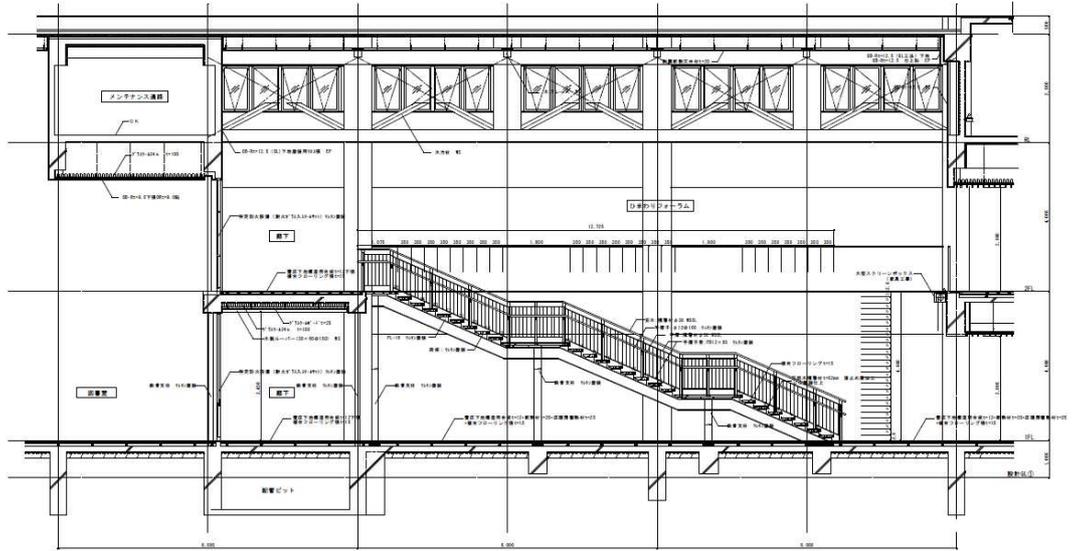
《ひまわりフォーラム》

●設計における工夫点2

ひまわりフォーラム上部の屋根架構は鉄骨造・鉄筋コンクリート造・木造を組み合わせ、ハイブリット木造耐火建築物を構成するだけでなく、力強い方杖と斜め格子梁が温もりと活気のある空間を構成している。ひまわりフォーラムとメディアセンターには木造の屋根架構を採用している。この建物は耐火建築物だが、長期的な鉛直荷重を鉄骨・鉄筋コンクリート部材で負担し、木材を地震や風・積雪などの短期的な荷重負担に限定することで、特殊な工法を用いず木部を表している。

●木材を採用した理由

校舎、屋内運動場ともに耐火建築物であるため木造ではないが、仕上げ、構造の一部に木材を用いて暖かみのある空間としている。床のフローリング、腰壁の杉板貼り、天井のルーバーなど木の仕上げを感じられる温もりのある空間とした。また、ひまわりフォーラムの斜め梁、格子梁は学校中心空間を支える力強さを表現している。



《ひまわりフォーラム断面図》



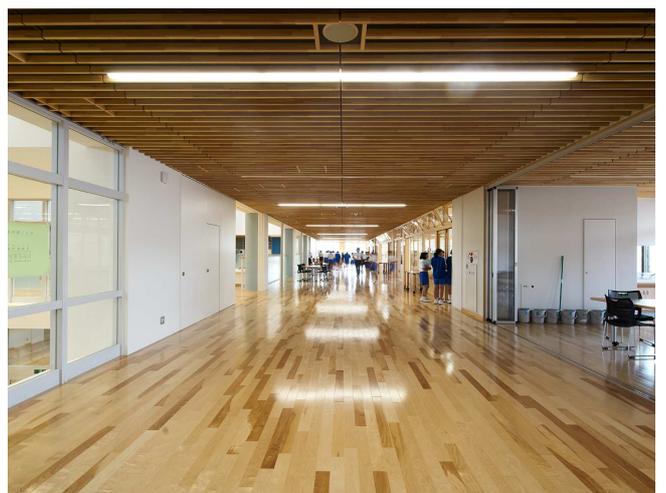
《教室》



《教室前多目的スペース》



《図書館閲覧室（メディアセンター）》



《学年ユニット》

■事業概要

設計者：株式会社鈴木建築設計事務所

施工者：株式会社高木

工期：平成26年6月～平成27年12月

設計費：50,925千円

建設費：2,929,266千円

1㎡あたりの建設費：281千円